

家畜育種・改良

講師名	佐々木 直	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、家畜育種の基本概念及び遺伝子的改良や種畜の選抜・交配等の基礎理論についての講義を担当している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	対象 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・共通	必修	2	前期	30	2
使用教科書・副教材	「家畜人工授精講習テキスト」: 家畜人工授精編(社)日本家畜人工授精師協会					
授業の目的	家畜育種の基本概念及び遺伝的改良や種畜の選抜・交配方法等の基礎理論を学ぶとともに、家畜登録・審査を通じて育種・改良の理解を深める。					
授業の到達目標	家畜育種・改良の仕組みや遺伝病、近交係数を理解し、交配する種牛を判断できるようになる。					

月日	学習項目	学習事項	時間	授業 形式	備考 (提出物等)
4月17日	家畜の遺伝の原理	授業のねらいと遺伝の基礎的な仕組みについて理解する	2	講義	
4月20日	//	質的形質とメンデルの法則について理解する	2	講義	
5月12日	家畜の遺伝の原理	量的形質と遺伝率、選抜反応について理解する	2	講義	
5月18日	家畜の主要形質の遺伝	性、毛色、遺伝的不良形質、血液型の遺伝とDNA多型について理解する	2	講義	
6月4日	家畜の交配方法	育種価、総合指数、近交係数、血縁係数について理解する	2	講義	
6月15日	乳牛の登録と審査	乳牛の登録のしくみと審査標準を理解する	8	講義 実習	外部講師 岩手県畜産協会 落安勝氏
7月3日	肉牛の登録と審査	黒毛和種雌牛の登録のしくみと審査標準を理解する	8	講義 実習	外部講師 全農県本部 菊池和馬氏
8月19日	乳牛の改良	乳牛の改良、牛群検定成績、種雄牛造成について理解する	2	講義	
9月14日	肉牛の改良	肉牛の改良、産肉能力検定、種雄牛造成について理解する	2	講義	
		合計	30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。
概論の評価割合: 筆記試験: 70%、平常点: 30%

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に参考書等に目を通しておくことが望ましい。授業は教科書に沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業形態は主に板書をして行う。